

保健だより

奈良中学校 保健室 : R6. 12. 2



< 学校教育目標:「世界を小とせよ」奈良中生

知性をみがく生徒 愛情深き生徒 体を鍛える生徒 >

1学年・性教育講演会 「大人になっていくみなさんへ」

令和6年11月12日(火)に熊谷市男女共同参画室のご協力の下、1学年を対象とした性教育講演会を行いました。講師は熊谷市大麻生にある中島助産院院長の中島桂子先生です。出産の現場で赤ちゃんを取り上げる立場から、「二次性徴」や「生命の誕生」などのお話をいただきました。



【 講演会でうかがったお話のポイント 】

●人は弱い動物です。みんな自分が大切です。人はひとりでは生きていけないので、大好きな人や仲間や友達との関係、触れ合いやコミュニケーションを本能的に大事にします。赤ちゃんは生まれたその瞬間から、人を動かす力をもっています。赤ちゃんの笑顔や存在自体が、周りの人と人とを結び付けます。逆に、笑顔や触れ合いを受けられない環境の赤ちゃんは、生きることさえ、ままらなくなります。今こうしてここにいるみなさんは、必ず誰かのお世話を受けて、今、生きているのです。

●世の中には多様な生き方、考え方があります。一人一人みんな違ってよいのです。大切なのは、自分が自分であることです。みなさんには、これからいろいろな人生が待っています。自分らしさを大切にしながら、生きていってください。ただし、自分らしく生きていく中でも人としてやってはいけないことがあります。それは、自分や他人の心や体を傷つけることです。人を傷つけることなく、みんなで支え合いながら生きてほしいと思います。

●二次性徴を迎えた皆さんは、心と体の変化によって悩むこともあるでしょう。その時あなたに正しい知識を与えてくれるのは、インターネットからの情報ではありません。学校や保健体育の授業、そしてあなたの周りにいる信頼できる大人です。思春期外来という専門家に相談できる場所もあります。悩んだ時は、大人に相談しましょう。

～ 生徒の感想の一部を紹介します ～

- ・自分の心や体の変化と付き合いながら生活していかなければならないな、と思いました。変化には個人差があるので同級生との接し方には気をつけたいです。
- ・人は人どうして支え合っていかなくてはいけない、と思いました。
- ・助産師さんも元気な赤ちゃんばかりの出産に立ち会うわけではない、というところが印象に残りました。今まで育ててくれたお母さんやお父さんに感謝の気持ちを持って生活したいです。
- ・ジェンダーの話を聞いて、保育士や看護師が男性でも良いことがわかりました。男子は男子、女子は女子と決めずにみんなが心地よい生活ができるようにしたいです。
- ・今日の話の中で、お互いの個性を認め合い、尊重することが大切だとわかりました。
- ・私は今まで「男のくせに」「女のくせに」と思う場面がたくさんありました。でも、男らしさ、女らしさは関係なく、お互いの気持ちを理解し合うことが大切だとわかりました。

地域学校保健委員会 報告

令和6年11月12日(火)に小学校PTA本部、家庭教育委員、中学校のPTA役員の皆さんにご参加いただき、学校保健委員会が開催されました。中学1年生の性教育講演会を参観していただき、その後、講師の中島桂子先生を囲んで参加者意見交換会を行いました。

保護者向け講話：幸せに生きるために ～「性」はアイデンティティ～

●自分のからだと心は自分のもの、あなたのからだと心はあなたのもの。小さな子どもであっても、大人は本人の許可なく体を触らない。

●「お前のため」と言っていないですか？子どもの意思を聞かずに無理強いしていないか考えてみましょう。

●現在、学校で行われている性教育は「包括的性教育」。幼少期から始まる継続的な教育。

5～8 歳 自分はかけがえのない存在と知る。体の違いに気づく前から教えるプライベートゾーン。身体の洗い方。よいタッチとわるいタッチ。

9～12 歳 それぞれの違いを認めあい、理解しあう。自己肯定感を土台に、嫌だと思ふことの伝え方を学ぶ。知識と勇気をもって自分を守る。

12～15 歳 たくさんの情報に触れて、どんな自分になるか選択していく。

15～18 歳 自分の意志で選択し、世界を広げていく。

●困った時の相談先

相談先

①「一般社団法人埼玉県助産師会・ぷれたま」 助産師に安心して迷いや悩みを話せる場所です

<https://common.mw-saitama.com>

☎048-799-3613 月・金曜日 10時～15時、第1～第4土曜日 11時～15時、16時～19時(祝・休日、年末年始を除く)

②「東京子どもねっと・ケータイヘルプデスク『こたエール』」

www.tokyohelpdesk.jp/

ネットや携帯電話でのトラブルで悩む青少年又はその保護者、学校関係者の為の相談機関

公益財団法人東京都福祉保健財団

③「チャイルドライン」

<https://www.childline.or.jp/index.html>

NPO法人チャイルドライン支援センターによる相談電話。原則的には18歳まで子ども対象

④深谷赤十字病院 産婦人科

まずは電話で相談。女性医師と助産師、小児科医もいます。

⑤中島助産院 <http://www.nakajima-jo3in.com> ☎048-533-3766 月～土9:00～17:00

参加者意見交換会 及び 感想

- ・自然なお話で、聞き入ってしまいました。子どもの成長を見守っていきたいと思います。
- ・先生のお話を聞きながら、子どもがお腹の中にできた時のこと、出産、子育て、今までのことを思い出して涙が出そうになりました。
- ・性教育について、家庭でどう向き合うか考えるいいきっかけになりました。
- ・「人は支え合って生きている」まさに日々感じていることです。
- ・命の誕生と性は切っても切り離せないもの。自分を大切に、また、自分を大切にしてくれる人に出会ってほしいと思いました。
- ・思春期の子どもとしっかり向き合い、子どもが乗り越えて生きていけるよう見守りたいと思います。